

# 一般質問

## ●防災訓練の充実と業務継続計画（BCP）について

篠田 徳壽 議員



赤十字飛行隊からの救援物資運搬訓練

**質問** 防災訓練前に参加団体と個別に打合せ会議を実施しているが内容や連携の確認は勿論、顔合わせの意味でも代表者による全体会議と反省会が必要と思うが対応は。  
**総務部長** 市内工場や社会福祉事業者等にも参加していただき、防災訓練を充実させるため、参加団体の代表者による全体会議と反省

会を開催する方向で検討します。

**質問** 災害時、BCPが機能するためにには図上訓練や安否確認メーラの訓練、連携体制の確認が必要であるが、対応はできているのか。  
**総務部長** 業務継続計画を見直し、職員招集機能を利用した安否確認訓練や図上訓練を実施します。連携体制については、社会福祉協議会等との協定により実施します。

**青少年の育成とスクールカウンセラーの対応について**  
**質問** 青少年センターは生涯学習課に設置されているが、不登校やいじめの問題などと連携するには、学校教育課に設置すべきと思う。事業内容を含め検討する考えは。  
**生涯学習部長** さまざまな事例ごとに学校教育課と連携し、関係機関の協力を得ながら学校へのサポートをしています。他市状況を見ながら現行体制で取り組みます。

**質問** 現状のスクールカウンセラーの配置で相談に十分対応できるのか。増員要望があるとすれば、市の単独事業として取り組む考えは。  
**教育長** 平成23年度スクールカウンセラーの相談実績から十分とは言えませんが、市単独事業による増員でなく、県や市の関係機関と連携して取り組んでいきます。

## ●市区町村との交流と提携について

今成 信司 議員

**質問** 関東エリアや東海エリアの市区町村との交流や提携はどのように行われているか。また今後の計画、試案はされているか。  
**企画部長** 関東地区ではへそのまち協議会等の交流実績があり、今後もこの交流を中心に取組みます。

**質問** 片品村では修学旅行の受け入れをし、生徒たちに農業体験をさせ効果を上げているそうだが、渋川市はどのように考えるか。  
**企画部長** 地域の特性を生かした都市部との交流の成功例と考えています。

**質問** 市区町村誘致について今後の見解を聞きたい。  
**企画部長** 情報収集、情報交換を行い、効果的な交流を研究していきたいと考えています。

**自然エネルギーについて**  
**質問** 現時点の市の方向性を確認したい。  
**市民部長** 地域新エネルギービジ



へそのまち協議会交流会

ョンに基づき、自然エネルギー導入の可能性の調査をしています。  
**質問** 今後の構想を示してほしい。  
**市民部長** 太陽光を中心に水力・バイオマス・風力等自然エネルギーの割合を増やしていきたい。

**質問** 防犯灯のLED化はお金がなくてできないのか、やる姿勢がなくてできないのか、確認したい。  
**市民部長** LEDは初期費用は高くなりますが、公共施設の建設や改修時に積極的に導入しています。

**質問** 市長は、今後エネルギー社会をどのように考えているのか。  
**市長** メガソーラー・バイオマス・風力等自然エネルギー導入に向け、引き続き研究していきたい。

# 一般質問



食品の放射性物質測定

## ●新エネルギーによる地産・地消の実現を

加藤 幸子 議員

**質問** 市の食品と放射性物質に関する講演会で「放射性物質は臭いも、味も、形もないのでしっかりと計測して見える化することが大切」と講演。地域の放射性物質の見える化を通学路や公園等で早急に行えないか。また子どもたちの健康状態を記録する健康手帳交付を。

**市民部長**

公共施設は測定してい

ますが、具体的な場所を教えてください。ただければ、早急に測定します。

**保健福祉部長**

子どもへの健康手帳の交付につきましては、今後の研究課題とします。

**質問** 原発事故で新エネルギーの関心が高まり、自治体は「新エネルギーの地産・地消」に取り組んでいる。市も南原メガソーラーを導入。今後の本市の新エネルギービジョンの具体的な計画は。

**市民部長**

地域新エネルギービジョンでは、太陽光発電と太陽熱利用が大変有望なエネルギーとなっています。本ビジョンを踏まえながら事業を推進していきたい。

**質問** 南原地権者からメガソーラー公園にと観光振興の要望がある。春は菜の花プロジェクト、秋はそば畑にしエネルギー公園の計画を。

**市長**

そばと菜の花の組み合わせがどうかという問題もありますが、地権者や地元のそば組合等と相談する必要があります。

**質問**

落ち葉や剪定樹木等を段ボール箱に指定袋を付けていた以前のようなゴミ出しはできないか。

**市民部長**

大きな段ボールで出され収集に支障を来したことがあります。指定袋に入れて出してください。

## ●入札手続きは公平に行われたか

角田 喜和 議員

**質問** 広域組合の最終処分場建設工事について渋川市の入札条件で行われました。土木・建築工事の総合評点は通常Aランクの総合評定値は800点です。今回850点、平均完成工事高10億円の設定です。条件設定は誰がどこで決めたのか。最終決定はどこがしたのか。

**総務部長**

条件付一般競争入札の条件は、契約検査課が原案を作成し、建設工事入札審査会の審査結果に基づき市長が決定しました。

**副市長**

優良な工事を安定的に施工させることや、ある程度の競争性を確保すること、さらに地域経済の活性化等を総合的に勘案して総合評定値の条件を定めました。

**質問** 工事費30億円と高額ですが、県の入札条件で行うのが筋ではないか。入札審査会では条件について異論は出なかったのか。

**副市長**

入札審査会では原案のと



小野上処分場の安全祈願祭

おり決定しました。共同企業体の代表者の条件を北毛全域の建築・土木Aクラスの業者としましたが、競争性を確保するために県基準より低い点数にしました。構成員は渋川市の経済と業者の育成に配慮し、広域圏内の業者としました。

**質問**

入札条件に該当するAランク業者同士で共同企業体を組んで落札している。官製談合に抵触するのではないか。

**副市長**

ルールに沿った入札を執行していますので、官製談合ではないことを明言します。入札条件の設定にあたっては、地元業者の育成と地元経済の活性化を図るという観点で条件を設定しました。